



駒本の力

駒本小学校(家)
教育活動紹介便り
校長 田中 克昌
NO. 2
平成27年5月1日

読書活動の推進としての朝読書

駒本小では、長年にわたって読書活動を推進してきました。その中でも特色となっているのが、週3回にわたる「朝読書」です。週1～2回行っている学校はたくさんありますが、週3回行っている学校はあまり多くありません。それだけ「力」を入れているということです。ねらいは、1. 読書の習慣を身に付けること。2. 児童の読む力を育成すること。3. 集中力を高めること。とありますが、朝読書の効果はこれだけでなく、朝の時間に読書に集中してから1時間目の授業に入ると、子どもたちはとても落ち着いた状態で学習に入ることができます。そのようにたくさんの効果がある朝読書を駒本小では次のように行っています。

1. 毎週火・水・金 朝8時25分から35分までの10分間です。

1～4年生までは金曜日には、保護者ボランティアの「駒本読み聞かせの会」の皆さんによる、読み聞かせが行われています。

2. 8時23分になると音楽と共に放送の合図が入り、全教員、全児童が読書に入ります。教員も子どもたちと一緒に読むということがとても大切なことです。

3. 読書する本は学級文庫、図書室の本、家から持参した本です。まんがについては学習に関するものは良いとしています。

本年度から学校図書館司書が週4日、本校で図書司書として勤務しています。これは、文京区の事業で区あげて読書活動を推進しているということを表しています。また、図書委員会の児童による全学年への読み聞かせも学期に各クラス1回計画されています。

4月の朝読書では、駒本小学校全ての教室で、大人も子どもも読書に集中している姿



を見ることができています。落ち着いた雰囲気、読書にいそしむ子どもたち、駒本小の「力」をまた一つ観ることができました。

【お願い】保護者の皆様にお願いがあります。できれば、時間をかけて読むことができる本をご用意いただきたいと思っています。学年段階よりも少し上の本にチャレンジし、読み終わったときの喜びを味わってほしいと願っています。どうぞよろしくお願いたします。

伝統の鼓笛隊紹介

駒本小伝統の鼓笛隊について紹介します。昭和29年の開校当時から鼓笛隊の活動は開始されました。ですから61年間脈々とその伝統が受け継がれているということです。発表の場は、運動会での鼓笛ドリル演奏、6月のあじさい祭り、9月の白山祭りでのパレードへの演奏参加、12月の引継ぎ式、そして、毎週月曜日の全校朝会での行進の演奏と、学校行事や地域行事、日々の生活の中で活動しています。

5年6年の全児童が参加し活動していることが、駒本小の特色ともなっています。また、これも駒本小鼓笛隊の特色となっているのが、朝練習です。7時45分から8時15分までの30分間、担当楽器やフラッグ等のパート別に朝練習が行われています。

この鼓笛隊の活動においても、PTAや地域の皆様、学校支援地域本部のみなさんのご支援をたくさんいただいております。

さらに、単に鼓笛隊として楽器を演奏しパレードするということではなく、教育活動として年間を通して、しっかりとした計画の下に指導がなされているということも特筆できることです。1学期には「みんなの心を一つにし、つくりあげようハーモニー」、2学期には「みんなの心をしあわせに、わたしたちのハーモニー」、3学期には「伝統を引きつ



ごう、駒本ハーモニー」と子どもたちにも分かりやすいねらいや指導目標を定め指導しています。

しっかりとした指導と地域や保護者による支援、そして指導者のたゆまぬ努力があるからこそ、駒本の鼓笛隊であり鼓笛隊の駒本として長きの伝統を積み上げてきているのだと思います。これもまた「駒本の力」の一つですね。

短い言葉の威力は大きい

私は、教員時代に子どもたちに生活指導や道徳の時間に、格言等の短い言葉を使って指導してきました。格言や名言は短い言葉の中に奥深い精神や内容が込められています。また、簡単に覚えることもでき、生涯の大切な言葉として活用することができるものです。百万言の言葉より、たった十何文字の言葉が、子どもたちの生活を豊かにし、生きる希望と意欲を与え、自己の戒めとすることができるのなら、こんなに素敵なことはありません。前号のウィリアム・ウォードの言葉もその一つです。

本校の目指す学校像とした「愛と熱と力の駒本」もその一つです。ある尊敬する先輩校長先生が、研修会の中で、「教師の道是、愛と熱と力也」と教えて下さいました。教師としての姿勢を端的に表しているその言葉に深く感銘し、その言葉を少しアレンジして、本校の教職員が子どもたちが目指すべき姿としたのが、「愛と熱と力の駒本」です。今後少しずつ紹介させていただきたいと考えています。